

2010 年パリ・モーターショー BMW 出展内容 目次



1. 2010 年パリ・モーターショー、BMW 出展内容
2. 主なハイライト 10

1. 2010 年パリ・モーターショー、 BMW 出展内容



プレミアム・カー・メーカーである BMW の最新モデル・レンジの特徴は、圧倒的な美しさと卓越した効率性です。BMW は 2010 年パリ・モーターショーに各種のニュー・モデルや車両コンセプトを出展し、BMW の開発戦略によって成し遂げられ、これらの特徴によって裏付けられた進化を皆様にご覧いただきます。傑出したパフォーマンスと比類ない燃費性能、低排出ガス特性を同時に実現しながらも、高品質なデザインで見る者の欲望を駆り立てるそれぞれのモデルは、BMW でしか体験できない未来志向のドライビング・プレジャーを提供し、世界の自動車市場において、企業としての BMW に高い収益と成長をもたらします。

BMW ブランドが市場攻勢のために生み出した最新モデルが、ニューBMW X3 です。世界で初公開されるこのモデルは、2010 年パリ・モーターショーの最大のハイライトのひとつに数えられます。スポーツ・アクティビティ・ビークルとしてセグメントに初めて参入したこの最新世代モデルは、世界各国で累計 60 万台以上を販売した先代モデルの成果を受け継ぐ一台であり、その特性をあらゆる面で最適化しています。ニューBMW X3 は、スポーティでエレガントなデザインに加え、クラスで最も広い室内空間と多様性を備えて登場します。俊敏性において、クラスをリードする地位をさらに磐石なものとし、快適性も大幅に向上しました。また BMW EfficientDynamics の生み出した各種テクノロジーの採用により、数ある競合モデルの中でも燃料消費量と排出ガスを最も低く抑えた一台です。

BMW は、2010 年パリ・モーターショーで 2+2 シーターのラグジュアリー・モデルによるコンセプト・カーを世界初公開し、スポーツ性能と運動性能に対する情熱を皆様に提示します。それが「BMW コンセプト 6 シリーズ クーペ」です。これはスポーツ・ドライビング・プレジャーと BMW ブランドならではの独自性を、未来に向けて新たに定義した一台です。クラシックな BMW クーペの特徴を随所に組み込んだこのコンセプト・カーは、70 年以上にわたる BMW ブランドの伝統をさらに進化させるものです。最新のデザインが施されたこのコンセプト・カーは、調和のとれた流れるようなラインを特徴としており、波の動きを連想させることでダイナミックなパワーを表現しています。

市場導入と同時に好調な実績を残したニューBMW 5 シリーズ セダンと 5 シリーズ ツーリングは、美しさ、躍動感、効率性という BMW ブランドの価値観を、アッパー・ミドル・レンジ・セグメントの中で魅力的なモデルとして見事に融合しました。パリ・モーターショーでは、これらのモデル向けのもうひとつのエンジン・バリエーションと、初採用となるインテリジェント四輪駆動システム xDrive 搭載モデルも展示します。さらに BMW 5 シリーズのセダンとツーリングの各モデルに設定される M スポーツ・パッケージも世界初公開されます。BMW 5 シリーズ グランツーリスモに関しても、xDrive は進化を続けています。将来的には、このモデルに用意されるガソリン・エンジン、ディーゼル・エンジン搭載車の全てに装備することも可能です。

最新のモデル・ラインナップで BMW は、ドライビング・プレジャーと優れた燃費性能を最適に統合したモデルをあらゆるセグメントに提供しています。現在の厳しい競争の中でこうした独自のステイタスを確立することに貢献したのが、「BMW EfficientDynamics 開発戦略」と、未来のモビリティに向けた多彩なコンセプトです。CO₂をまったく排出しない走りの世界への道を切り開いたのが、BMW コンセプト・アクティブ E です。このコンセプト・カーも、2010 年パリ・モーターショーでフランス初公開となります。BMW 1 シリーズ クーペをベースとしたこのコンセプト・カーは、電気駆動システムと画期的な蓄電システムを搭載し、1 回の充電で、BMW ならではの俊敏性を楽しみながら約 240km を走ることができます。

魅力的なビジョン:BMW コンセプト 6 シリーズ クーペ

プレミアム・クラスの 2+2 シーターが持つスポーツ・ドライビングの歓びと独自性を再定義したのが、BMW コンセプト 6 シリーズ クーペです。2010 年パリ・モーターショーで世界に向けて初公開されるこのコンセプト・カーは、スポーティでエレガントなクーペを作り続けてきた歴史の中で、BMW ブランドが進化させてきたさまざまな特性を際立たせた一台です。このコンセプト・カーは、美しさと躍動感を特徴とする新たな概念のカテゴリーの創造に道を切り開く一台でもあります。

BMW コンセプト 6 シリーズ クーペは、BMW のエレガントな本物のデザインによって、比類ないエンジンとシャシーが提供する突出した軽快さを表現しています。このコンセプト・モデルでは、ロング・ノーズ、ショート・オーバーハング、後方に寄せられたパッセンジャー・コンパートメント、ロング・ホイールベース、低い姿勢のシルエット、ダイナミックに流れるルーフ・ラインなど、クラシックな BMW クーペ特有のデザインが随所に採り入れられています。フロント・エンドからリア・エンドまで流れるように伸びるボディ・ラインが、ボディの各セクションをまるで一体構造で作られたかのように融合させています。

ボディ表面は、面の構成に従って緻密に流れるラインによって形作られています。こうした線と面の対比によって、BMW コンセプト 6 シリーズ クーペは生まれながらにしてスポーティなオーラを放ちます。線によって描かれる形状と面の造形がもたらすこの作用は、風や潮の満ち干き、潮流によって生まれる海面の波をヒントにしたものです。

安全性を向上させる革新技術:アダプティブ・ヘッドライト機能を内蔵したフル LED ヘッドライト

このコンセプト・カーを形作る一つ一つの要素の中で、最も注目すべき特徴のひとつが、新開発のフル LED 式ヘッドライトです。BMW で初めて採用されたフル LED 式ヘッドライトは、鮮やかな白色光を放ち、前方の路面を明るく均一に照らし出します。さらに、このシステムにはアダプティブ・ヘッドライト機能も組み込まれています。同じく LED ライト・リングによるデイ・ランニング・ライトは、ひと目で BMW だとわかる徴的なフロント・エンドのスタイリングをいっそう際立たせます。

このコンセプト・カーのリア・エンドに装備される BMW の特徴的な L 字型テール・ライトは、ボディ・サイドとリア・エンドのデザインを視覚的に結びつけています。ユニット内部には LED ライト・ストリップが 2 本組み込まれ、BMW ならではのナイト・デザインを表現しており、L 字の下側のライト・ユニットがその効果を高めています。また、ターン・インジケーター、テール・ライト、ブレーキ・ライトにも LED を使用しています。

BMW コンセプト 6 シリーズ クーペのインテリアは、機能性とエレガンス、独自性を特徴としています。センター・コンソール周辺は、BMW の特徴であり、スポーツ・クーペの裏付けでもあるドライバ志向のコンセプトに基づくもので、比類ないスタイリッシュな空間がデザインされています。ダッシュボードの中央には iDrive 用の独立型 10.2 インチ・コントロール・ディスプレイが装備され、斬新なアクセントを添えています。このコンセプト・カーには BMW の各モデル・シリーズに採り入れられているヘッドアップ・ディスプレイも装備され、世界の他メーカーのモデルには見られないほどの優れた機能性を提供します。また、BMW コンセプト 6 シリーズ クーペには、専用設計の HiFi オーディオ・システムと、デンマークのオーディオ専門メーカー、バング・アンド・オルフセン社による高品位コンポーネントも装備され、最高のサウンド体験を提供します。

パリで世界初公開：ニューBMW X3

ベストセラー・モデルとなった先代モデルの後継となるニューBMW X3 は、パリ・モーターショーで世界に向けて初公開されます。この新型スポーツ・アクティビティ・ビークルは、大きな実績を残した先代モデルを上回るほどの俊敏性と快適性をもたらします。室内空間と収納力が増したことで、後席の乗員がメリットを受けるばかりでなく、ラゲージ・ルームもさらに使いやすくなりました。ニューBMW X3 の後席に装備される 40:20:40 の割合で分割可能な可倒式リア・シートを折り畳むと、ラゲージ・ルーム容量は通常の 550 リッターから 1,600 リッターまで広げることができ、同クラスのどの競合モデルよりも広々とした空間と多彩な用途を提供します。

ニューBMW X3 のボディ・デザインは、洗練されたエレガンスと野生的な俊敏性が表現されています。フラットなフロント・エンドに高く引き上げられたリア・エンドを組み合わせたことで、躍動感あふれるウェッジ・シェイプのサイド・ビューが完成し、このモデルのスポーティな資質が強調されています。抑揚ある面構成は、いくつかの印象的なラインによって引き立てられ、ボディに精巧な造形美をもたらしています。ニューBMW X3 のフロント・ビューは、前方へ突き出すようなキドニー・グリルと大型のヘッドライト・ユニット、パワフルな印象をもたらすフロント・エプロン、キドニー・グリルから伸びる 6 本のラインが特徴的なボンネットで構成され、自信に満ちた表情を形作っています。

空間的な広がりと多様性を備えるインテリア・コンセプトと、高品質の素材、特徴的なラインを描く表面デザインによって、ニューBMW X3 の室内にはモダンでプレミアムな雰囲気と高度な機能性が加わりました。シート・ポジションを高くしたことで乗り降りがしやすくなったと同時に、前方の車の流れも見やすくなりました。また前席にも後席には、随所に収納部や収納トレイ、カップ・ホルダーが組み込まれています。大人 3 人が乗車できるリア・シートは、足元やひじ周りのスペースが先代モデルよりも大幅に広がったことで、長距離ドライブでも快適な乗り心地を提供します。

BMW EfficientDynamics：最新の駆動テクノロジーとオート・スタート・ストップ機能を、6 気筒エンジン搭載の 8 速オートマチック・トランスミッション車に初搭載

新たに導入されるニューBMW X3 には、2 種類の最新技術を搭載したエンジンが用意されます。ニューBMW X3 xDrive20d には、4 気筒ディーゼル・エンジンが搭載されます。最高出力は先代モデルを 5kW 上回る 135kW(184ps)を発生。EU テスト・サイクルによる 100km 走行あたりの平均燃料消費量は 5.6 リッターで、先代モデル比で 14%向上しました。ニューBMW X3 xDrive35i には、最高出力 225kW(306ps)の直列 6 気筒ガソリン・エンジンが搭載されます。

ニューBMW X3 xDrive35i には、8 速オートマチック・トランスミッションが標準装備されます。このトランスミッションは、BMW X3 xDrive20d にも標準仕様の 6 速マニュアル・トランスミッションに代わるオプションとして用意されます。競合モデルにこのような装備がオプション設定されている例はありません。またこのオートマチック・トランスミッションには、交差点や渋滞の区間で停車したときにエンジンを自動的に停止させるオート・スタート・ストップ機能が初めて組み込まれており、エンジン停止後、ブレーキ・ペダルから足を放すとただちにエンジンが再始動します。

新開発のサスペンション、改良型 xDrive、オプションのダイナミック・ドライビング・コントロール

ニューBMW X3 には、フルタイム四輪駆動システム xDrive が標準装備されます。このインテリジェント四輪駆動テクノロジーは、運動性能の強化を狙いとした革新的なチューニングが施されたことで、トラクションとコーナリング中のハンドリングを向上させており、一定速度でのコーナリング中には駆動トルクの多くをリア・ホイールに配分します。オプションのパフォーマンス・コントロールを装備すると、この俊敏なハンドリングをいっそう強化することができます。

ニューBMW X3 には、まったく新しく開発されたサスペンションが搭載されます。フロントのダブル・ジョイント・スプリング・ストラット・アクスルに 5 リンク・リア・アクスルを組み合わせることで、俊敏性と快適性を共に向上させるための理想的な条件が整いました。BMW の X モデルに初めて採用されるエレクトリック・パワー・ステアリング (EPS) も、このモデルの精密なハンドリングに大きく貢献するシステムです。オプションとして用意される新開発のバリアブル・スポーツ・ステアリングを装備すると、急カーブを走行する際に最小限のステアリング操作で前輪の舵角を変えることができるようになります。

ニューBMW X3 にオプション設定されるダイナミック・ダンピング・コントロールは電子制御ダンパーを内蔵したシステムで、路面状況やドライバーの走行スタイルに応じてダンパーの減衰力を調整します。ドライバーはダイナミック・ドライビング・コントロールを介して、ダンパーの特性マップを切り替えることができます。BMW X3 に初採用のこの機能は、センター・コンソールのボタンを操作して、「NORMAL」、「SPORT」、「SPORT+」の 3 つのモードを選択することができます。

BMW コネクテッド・ドライブによるユニークなドライバー・アシスタンス・システム

BMW コネクテッド・ドライブが提供する各種のドライバー・アシスタンス・システムは、このクラスでは例がないほど充実しています。中でもニューBMW X3 には、ヘッドアップ・ディスプレイ、アダプティブ・ヘッドライト、ハイビーム・アシスタント、ブレーキング機能付きクルーズ・コントロール (BMW X3 xDrive35i には標準装備)、トップ・ビュー機能付きリア・ビュー・カメラが用意されています。その他にも、2 ゾーン式オートマチック・エア・コンディショナー、電動パノラマ・ガラス・サンルーフ、ハイエンド・オーディオ・システム、HDD ドライブを内蔵したナビゲーション・システム「BMW Professional」、オートマチック・テールゲート、電動ボールヘッドを内蔵したトーバーなど、多彩なオプションが用意されています。またパリ・モーターショーでは、ニューBMW X3 向けに 2011 年から導入される M スポーツ・パッケージも出展されます。

新エンジンと xDrive の導入でさらに多彩になった BMW 5 シリーズ

2010 年パリ・モーターショーでは、導入間もないニューBMW 5 シリーズ ツーリングが、各種の新エンジンと共に披露されます。5 シリーズ ツーリングのモデル・バリエーションには、3 つ目のガソリン・エンジンとディーゼル・エンジン 2 機種が新たに加わります。ニューBMW 528i ツーリングには高精度ダイレクト・インジェクション・システムを装備した最高出力 190kW(258ps)のガソリン・エンジンが、ニューBMW 525d ツーリングには最高出力 150kW(204ps)の 3.0 リッター直列 6 気筒ディーゼル・エンジンが搭載されます。BMW 535d ツーリングの直列 6 気筒ディーゼル・エンジンには、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用し、最高出力 220kW(300ps)を発生します。

さらに BMW のインテリジェント四輪駆動システム xDrive を搭載した 2 つのモデルも、世界に向けて初公開されます。ニューBMW 535i xDrive ツーリングには、BMW ツインパワー・ターボと高精度ダイレクト・インジェクション・システム、バルブトロニックを装備した、最高出力 225kW(306ps)の直列 6 気筒エンジンが搭載され、そのパワーは自在に比率を変えながら四輪全てに配分されます。ニューBMW 530d xDrive ツーリングでも、最高出力 180kW(245ps)の直列 6 気筒ディーゼル・エンジンによるパワーが、同じように分配されて路面へ伝えられます。いずれのモデルも、2011 年春に導入の予定です。

BMW ツインパワー・ターボを採用した直列 6 気筒ターボ・ディーゼル・エンジンは、BMW のディーゼル・エンジンの中でも最強のパワー・ユニットで、圧倒的な推進力と優れた効率性を兼ね備えています。ニューBMW 5 シリーズ セダンには四輪駆動システム xDrive も導入され、同じく好調なスタートを切りました。5 シリーズ セダンのトップ・モデルに用意されたこのシステムは、初めて 8 気筒エンジンと組み合わせられ、直ちに効果をもたらしました。BMW 550i xDrive セダンでは、BMW ツインパワー・ターボと高精度ダイレクト・インジェクション・システムを装備した、最高出力 300 kW(407ps)の V8 エンジンと、8 速オートマチック・トランスミッションにこのフルタイム四輪駆動システムを組み合わせています。パリ・モーターショーでは、このエグゼクティブ・セダンの四輪駆動モデルを、さらに 2 車種出展します。このインテリジェント四輪駆動システムは、5 シリーズ ツーリングの 2 車種以外にも、最高出力 225kW(306ps)の直列 6 気筒ガソリン・エンジンを搭載した BMW 535i xDrive セダンと、出力 180kW(245ps)の直列 6 気筒ディーゼル・エンジンを搭載した BMW 530d xDrive セダンの 2 車種に搭載されます。BMW 5 シリーズ ツーリングの xDrive 搭載車と同じく、これら 2 車種も 2011 年春に導入の予定です。

BMW 5 シリーズ グランツーリスモでも、四輪駆動モデルの選択肢がさらに広がりました。搭載されるエンジンは最高出力 300kW(407ps)の 8 気筒ガソリン・エンジン、出力 225 kW(306ps)の 6 気筒ガソリン・エンジン、出力 220 kW(300ps)および 180 kW(245ps)の 6 気筒ディーゼル・エンジン 2 機種です。トップ・モデルの BMW 550i xDrive グランツーリスモと BMW 530d xDrive グランツーリスモに続き、さらに 2 つの 6 気筒エンジン・モデルに xDrive が搭載されます。BMW 550i xDrive セダン、2010 年秋に導入される BMW 535i xDrive グランツーリスモ、BMW 535d xDrive グランツーリスモに、2011 年春に市場への参入を予定している 5 シリーズ セダンとツーリングの最新バリエーションを加えると、BMW 5 シリーズの四輪駆動モデルは合計で 9 車種となります。

この他にも BMW はパリ・モーターショーで、BMW 5 シリーズ セダンとツーリングのために開発された革新的なテクノロジーを、導入に先立ち公開します。それが「ハンズフリー・テールゲート・オープニング機能」です。BMW コネクテッド・ドライブの開発哲学の一環として考案されたこの機能は、他には例のない手法によって、荷物の積み込みをさらに容易にします。オプション装備品のコンフォート・アクセスに含まれるこの機能は、バンパーに内蔵されたセンサーで記憶した足の動きに従って、テールゲートを自動的に開きます。これにより、多くの荷物やかさ張る荷物を運んでいるときでも、これらを一度地面に下ろし、手動操作でテールゲートを開ける必要がなくなりました。この「ハンズフリー・テールゲート・オープニング」機能は、2011 年秋から 5 シリーズ セダンとツーリングに導入予定です。

最適な運動性能を目指して: BMW M GmbH の製品ラインナップ

2010 年秋から、BMW M GmbH の製品ラインナップがさらに充実します。パリ・モーターショーで初公開されるのが、BMW 純正アクセサリとして用意される新開発のレトロフィット用コンポーネント、M パフォーマンスです。BMW M3 に装着することで、さらに個性を際立たせ、躍動感あふれるポテンシャルをいっそう強化できます。

ニューBMW 5 シリーズ セダンおよびツーリングのダイナミックなキャラクターをさらに際立てるのが、各モデル専用設計の M スポーツ・パッケージです。パリ・モーターショーでは、ニューBMW M3 用の M スポーツ・パッケージを、2010 年 11 月の導入に先立ち公開します。BMW Individual のラインナップも、BMW 7 シリーズや BMW 5 シリーズの各モデル向けに新登場した魅力的な製品によってさらに充実します。

さまざまな基準を確立し、新たな可能性を切り開いた BMW EfficientDynamics

BMW EfficientDynamics は、BMW ブランドならではの駆けぬける喜びをこれまでにない形で表現し、燃料消費量と排出ガスを減らすためのさらなる方策を提供することを目指した、BMW の開発戦略です。2010 年パリ・モーターショーでは、その最新の成果と将来に向けた長期的展望もご紹介します。傑出した効率性を備えた新開発エンジンや、駆動システム関連テクノロジーの最適化は、いずれも燃料消費量の軽減を目指したものです。これによって BMW の車両は、あらゆるセグメントで最高のドライビング・プレジャーと効率性を同時に提供することが可能になります。数多くの革新的な車両コンセプトは、燃料消費量と排出ガスの軽減、そして究極的には CO₂ を排出しないモビリティへの道を示すものです。BMW はエネルギー源として水素を活用したり、電気駆動システムの開発に継続して取り組んだりすることで、現在もこの目標の達成を目指しています。

ニューBMW X3 の導入は、BMW EfficientDynamics によるテクノロジーをモデル・ラインナップ全体に標準仕様として導入することに向けた、さらなる前進でもあります。ニューBMW X3 では、初めて 6 気筒エンジン搭載車にもオート・スタート・ストップ機能が用意されることになりました。また 6 速マニュアル・トランスミッション仕様車ばかりでなく、8 速オートマチック・トランスミッション仕様車にもこのシステムを装備できるようになりました。大きな実績を残したスポーツ・アクティビティ・ビークルの最新世代モデルには、BMW X モデルとしては初めてエレクトリック・パワーステアリング (EPS) が装備されます。このシステムでは、電気モーターがパワー・アシストの機能を果たします。このモーターはステアリングを操作する必要があるときを除いて作動しないため、エネルギー消費量の軽減に大きく貢献します。

2010 年秋から、BMW の全ての現行モデルは、ヨーロッパの排出ガス基準 EU5 に準拠した車両となります。また、オプションの BMW BluePerformance を装備することで、2014 年から施行される EU6 をクリアすることができるモデルもさらに増えました。BMW 530d セダン、BMW 320d セダン、BMW 320d ツーリング、BMW 330d セダン、BMW 730d、BMW 730Ld に続き、このテクノロジーを装備することで EU6 をクリアした 7 番目のモデルがニューBMW 530d ツーリングです。

BMW EfficientDynamics のもうひとつの支柱として、BMW アクティブハイブリッド・テクノロジーも用意されています。燃料消費量と排出ガスを大幅に減らしてダイナミックなパフォーマンスをさらに強化するため、そのキャラクターに応じて内燃式エンジンと電気駆動システムを高度に融合した 2 つのモデル、BMW ActiveHybrid 7 と BMW ActiveHybrid X6 が今年から導入されました。

BMW スタイルのエレクトロモビリティ: BMW コンセプト・アクティブ E

アクティブハイブリッド・テクノロジーのさらなる開発と並び、BMW は電気駆動分野に関する知識と経験もさらに広げつつあります。パリで披露される BMW コンセプト・アクティブ E は、BMW スタイルの CO2 を排出しないモビリティがどのような形をとるのかを示す一台です。BMW 1 シリーズ クーペをベースにしたこのコンセプト・カーは、フルサイズ・シート 4 つと、容量 200 リッターのラゲージ・ルームを備え、同時に、BMW ならではの俊敏性と駆けぬける歓びを、テールパイプから排気ガスを出さずに体験できます。このコンセプト・カーのためだけに開発された電気モーターは出力 125kW(170ps)で、発進と同時に 250Nm におよぶ最大トルクを発生させます。駆動するための電力は、車内へ巧みに組み込まれたリチウム・イオン・バッテリーから供給されます。

電気自動車の実際の運用に関する知識をさらに収集するために、BMW では来年、試験車両による大規模な実証試験を予定しています。この試験は個人ユーザーによって日常走行を行うもので、フランス(予定)を含む複数の国で実施される予定です。MINI E の試験車両を用いたパイロット・プロジェクトに続くこの実証試験によって、BMW グループはエレクトロモビリティに関する広範囲にわたる研究開発を、組織的に進めていく方針です。実証試験によって得られた各種情報は、都市部での使用を目的としたメガシティ・ビークルの開発に携わるプロジェクト i に提供されます。このまったく新しい車両コンセプトにも電気モーターが使われ、2013 年に生産を開始する予定です。

BMW コネクテッド・ドライブ: 外部との通信機能でいっそうのドライビング・プレジャーを

ドライバー、車両、外部を結ぶインテリジェント・テクノロジーについて、BMW は革新的な手法を生み出しています。BMW コネクテッド・ドライブによるドライバー・アシスタンス・システムやモビリティ・サービスは、ドライブの快適性やエン터테인먼트機能、安全性を向上します。2010 年パリ・モーターショーでは、ドライビング・プレジャーをさらに上のレベルに引き上げるため、BMW コネクテッド・ドライブが新たに提供する革新的な機能をご紹介します。

パリ・モーターショーでは、BMW 7 シリーズ向けに開発された最新の後席用車載電話が披露されます。この車載電話の大きな特徴は、WiFi ホットスポット機能内蔵のコードレス・ハンドセットであることで、ノート PC やアップル社の iPad などの各種通信機器を使用することで、走行中にワイヤレスでインターネットへアクセスすることができます。BMW はこの他にも、新たな Bluetooth インターフェイスをご紹介します。このテクノロジーは、アップル社のモバイル・オペレーティング・システム「iOS 4」向けに開発されたもので、アップル社の新しい iPhone4 をはじめとした各種携帯端末による通信が可能になります。同じくパリ・モーターショーに出展される iPod Out 機能は、車内でアップル社の各種携帯音楽プレーヤーを使用する際の操作性を向上するためのものです。さらに BMW は、BlackBerry スマートフォンを車内で使用するための世界的にもユニークなテクノロジーをご紹介します。このテクノロジーでは、テキスト・トゥ・スピーチ機能で E メールを表示させることも可能になります。車内で利用できる、Google 社による各種サービスの幅もさらに広がりました。例えばナビゲーション・システムで目的地を指定すると、Google 社の「パノラミオ」サービスを経由して、オンボード・モニターにその場所の画像を表示させることができます。

2. 主なハイライト



- **世界初公開:BMW コンセプト 6 シリーズ クーペ**

2010 年パリ・モーターショーは、BMW コンセプト 6 シリーズ クーペを世界に初公開するための舞台です。プレミアム・クラスの 2+2 シーターをテーマとしたこのコンセプト・カーは、美しさと運動性能に対する BMW の情熱を形にした一台です。流れるようなラインと造形美にあふれる美しい面構成が、BMW コンセプト 6 シリーズ クーペの特徴です。クラシックな BMW クーペ特有のデザイン・エレメントが、モダンな形で新たに表現されています。またこのコンセプト・カーにはフル LED 式ヘッドライトや、新開発の iDrive 用独立型コントロール・ディスプレイなど、革新的な装備も数多く採り入れられています。

- **世界初公開:ニューBMW X3**

これまで以上の運動性能と走行快適性、室内空間の広さ、多様性を誇るニューBMW X3 は、同セグメントにおいて先代モデルが確立した競合モデルとの差をさらに大きく広げます。効率性の面でも、このたび導入される 2 つのエンジンが、新たな基準を確立します。6 気筒エンジンと 8 速オートマチック・トランスミッションの組み合わせに、初めてオート・スタート・ストップ機能が組み込まれます。また、ニューBMW X3 には BMW の X モデルとしては初めて、エレクトリック・パワー・ステアリング (EPS) が標準装備され、ドライビング・ダイナミック・コントロールもオプションで設定されます。ニュー・モデルにはこの他にも、アダプティブ・ヘッドライトやヘッドアップ・ディスプレイ、トップ・ビュー機能付きリア・ビュー・カメラなどが用意されています。いずれも BMW コネクテッド・ドライブによるドライバー・アシスタンス・システムであり、このセグメントでは他に例のないものです。

- **世界初公開:新エンジンと M スポーツ・パッケージが用意された**

- **ニューBMW 5 シリーズ ツーリング**

ニューBMW 5 シリーズ ツーリングでは、さらにディーゼル・エンジン 2 機種とガソリン・エンジン 1 機種が新しくラインナップに加わりました。BMW 525d ツーリングには、最高出力 150kW(204ps)の 3.0 リッター直列 6 気筒ディーゼル・エンジンが搭載されます。一方 BMW 535d ツーリングのパワー・ユニットは、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用した直列 6 気筒ディーゼル・エンジンで、最高出力は 220kW(300ps)に達しています。BMW 528i ツーリングには、高精度ダイレクト・インジェクション・システムを装備した、最高出力 190kW(258ps)のガソリン・エンジンが搭載されます。パリ・モーターショーでは他にも、このエグゼクティブ・ツーリング・モデルで初の四輪駆動車、BMW 535i xDrive ツーリングと BMW 530d xDrive ツーリングも披露されます。また、BMW 5 シリーズ ツーリング向けに新しく開発された M スポーツ・パッケージも初公開されます。

- **世界初公開:ニューBMW 5シリーズ セダンの xDrive モデルと M スポーツ・パッケージ、ニューBMW 5シリーズ グランツーリスモの xDrive モデル**

ニューBMW 5シリーズ セダンには新しくディーゼル・エンジン 1 機種がラインナップされ、エンジン・バリエーションがさらに広がりました。BMW 535d セダンに搭載される直列 6 気筒ディーゼル・エンジンは、最高出力 220kW(300ps)を発生します。パリ・モーターショーでは、ニューBMW 5シリーズ セダン向けに初めて開発された M スポーツ・パッケージも公開されます。さらにニューBMW 5シリーズ セダンには、BMW のインテリジェント四輪駆動システム xDrive も用意され、BMW 5シリーズ セダンとしては初めて、8 気筒エンジン搭載車にも設定されることになりました。パリではこの xDrive を装備した BMW 550i xDrive と共に、BMW 535i xDrive、BMW 530d xDrive が初公開されます。また今後は、BMW 5シリーズ グランツーリスモでも、全てのエンジンに xDrive を組み合わせることができるようになります。

- **イノベーション:ハンズフリー・テールゲート・オープニング機能**

2010 年パリ・モーターショーでは、BMW コネクテッド・ドライブが生んだ、荷物の積み込みをいっそう楽にするための革新的な快適機能も初公開されます。それが「ハンズフリー・テールゲート・オープニング」機能です。この機能は、ニューBMW 5シリーズ セダンとニューBMW 5シリーズ ツーリングに装備され、会場で披露されます。この機能では、ユーザーが車両の後ろに立ち、センサーが記憶した通りの足取りで歩くことで、自動的にテールゲートが開きます。この革新的な機能はオプション装備品のコンフォート・アクセスに含まれており、2011 年秋からニューBMW 5シリーズ ツーリングとニューBMW 5シリーズ セダンに用意される予定です。

- **イノベーション:BMW M GmbH による新製品**

BMW M3 のレーシング・カーを連想させる躍動感を、いっそうシャープに際立てる新たなオプションが加わり、BMW M GmbH の提供する製品ラインナップがさらに広がりました。BMW 純正アクセサリとして用意される新開発のレトロフィット用コンポーネント、M パフォーマンスは、エアロダイナミクスとインテリアの強化に重点を置いた製品で、2010 年のパリ・モーターショーで初公開されます。また、ニューBMW 5シリーズ セダンやニューBMW 5シリーズ ツーリングに加え、ニューBMW X3 にも M スポーツ・パッケージが用意されることになりました。

- **イノベーション:BMW コネクテッド・ドライブによる新機能**

ドライバー、車両、外部を結ぶ高度な技術によって、BMW コネクテッド・ドライブは、ドライブの快適性やエン터테인먼트機能、安全性を向上させるための魅力的な可能性を創造しました。また、スマートフォンや携帯音楽プレーヤーを車内に接続するテクノロジーでも、BMW コネクテッド・ドライブは世界をリードします。2010 年パリ・モーターショーでは、BlackBerry スマートフォンを接続するための、世界的にもユニークなテクノロジーを公開します。これによって、テキスト・トゥ・スピーチ機能で E メールを表示させることも可能になります。この他にも、新たな Bluetooth インターフェースをご紹介します。このテクノロジーは、アップル社のモバイル・オペレーティング・システム「iOS 4」向けに開発されたもので、アップル社の新しい iPhone4 をはじめとした各種携帯端末による通信が可能になります。同じくパリ・モーターショーに出展される iPod Out 機能は、車内でアップル社の各種携帯音楽プレーヤーを使用する際の操作性を向上するためのものです。車内からのオンライン接続に新たな可能性を切り開いたのが、後席用車載電話に組み込まれた WiFi ホットスポット機能です。この機能により、ノート PC やアップル社の iPad などの各種通信機器を使用して、走行中にワイヤレスでインターネットにアクセスすることができます。